

～これからの公共施設について

一緒に考えてみませんか～

概 要 説 明 資 料

目次

○ 国の要請	P. 1
○ 公共施設における課題	P. 5
○ 年代別人口の推移	P. 6
○ 財政状況	P. 8
○ 公共施設の配置	P. 11
○ 公共施設類型別床面積	P. 13
○ 公共施設経過年数	P. 14
○ 市民一人あたりの延床面積	P. 15
○ 公共施設の劣化調査結果	P. 16
○ 公共施設のコスト	P. 20

(別冊資料)

- 公共施設の利用状況(平成29年度実績)
- 全国市町村のまちづくり先進事例

国の要請

◆公共施設等総合管理計画の策定要請

- ① 平成26年4月22日に**総務大臣**から地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画の策定要請があった。
- ② 公共施設等総合管理計画の策定にあたって、総務省自治財政局財務調査課長から**総務省**が策定した「**公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針**」を参考とするほか、「**インフラ長寿命化基本計画**」を参考として総合管理計画を策定し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進されるよう通知があった。

(※)策定要請に係る文書

- 「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」
(総務大臣/総財務第74号・平成26年4月22日)
- 「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の策定について」
(総務省自治財政局財務調査課長/総財務第75号・平成26年4月22日)

国の要請（総務省資料から抜粋）

◆インフラ長寿命化基本計画の概要

- 個別施設毎の長寿命化計画を核として、メンテナンスサイクルを構築
- メンテナンスサイクルの実行や体制の構築等により、トータルコストを縮減・平準化
- 産学官の連携により、新技術を開発・メンテナンス産業を育成

1. 目指すべき姿

○安全で強靱なインフラシステムの構築

- メンテナンス技術の基盤強化、新技術の開発・導入を通じ、厳しい地形、多様な気象条件、度重なる大規模災害等の脆弱性に対応
- 【目標】老朽化に起因する重要インフラの重大事故ゼロ（2030年）等

○総合的・一体的なインフラマネジメントの実現

- 人材の確保も含めた包括的なインフラマネジメントにより、インフラ機能を適正化・維持し、効率的に持続可能で活力ある未来を実現
- 【目標】適切な点検・修繕等により行動計画で対象とした全ての施設の健全性を確保（2020年頃）等

○メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化

- 今後のインフラビジネスの柱となるメンテナンス産業で、世界のフロントランナーの地位を獲得
- 【目標】点検・補修等のセンサー・ロボット等の世界市場の3割を獲得（2030年）

2. 基本的な考え方

○インフラ機能の確実かつ効率的な確保

- メンテナンスサイクルの構築や多段階の対策により、安全・安心を確保
- 予防保全型維持管理の導入、必要性の低い施設の統廃合等によりトータルコストを縮減・平準化し、インフラ投資の持続可能性を確保

○メンテナンス産業の育成

- 産学官連携の下、新技術の開発・積極公開により民間開発を活性化させ、世界の最先端へ誘導

○多様な施策・主体との連携

- 防災・減災対策等との連携により、維持管理・更新を効率化
- 政府・産学界・地域社会の相互連携を強化し、限られた予算や人材で安全性や利便性を維持・向上

3. 計画の策定内容

○インフラ長寿命化計画（行動計画）

- 計画的な点検や修繕等の取組を実施する必要性が認められる全てのインフラでメンテナンスサイクルを構築・継続・発展させるための取組の方針（対象施設の現状と課題／維持管理・更新コストの見通し／必要施策に係る取組の方向性 等）

○個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）

- 施設毎のメンテナンスサイクルの実施計画（対策の優先順位の考え方、個別施設の状況等、対策内容と時期、対策費用 等）

4. 必要施策の方向性

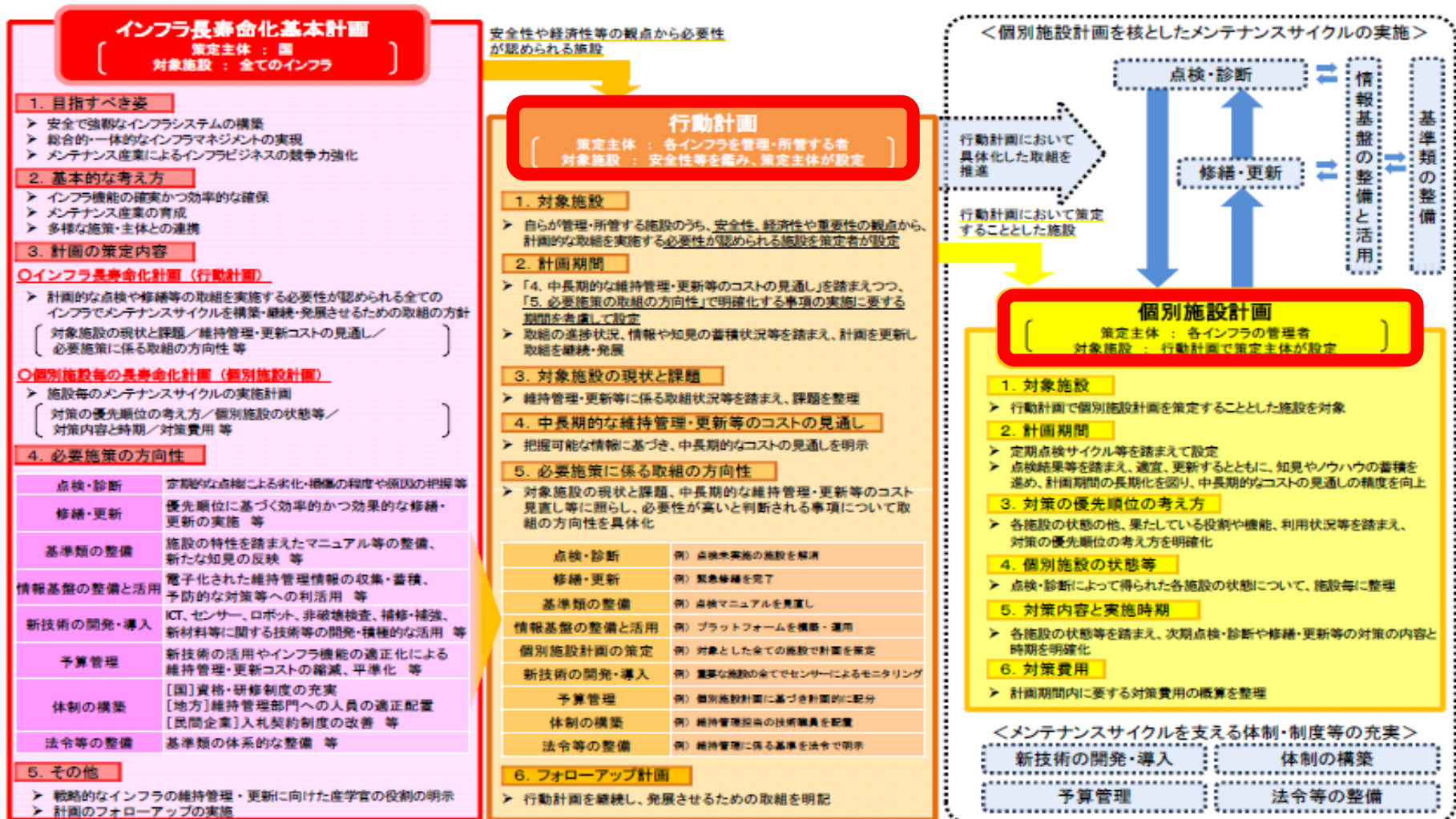
点検・診断	定期的な点検による劣化・損傷の程度や原因の把握 等
修繕・更新	優先順位に基づく効率的かつ効果的な修繕・更新の実施 等
基準類の整備	施設の特性を踏まえたマニュアル等の整備、新たな知見の反映 等
情報基盤の整備と活用	電子化された維持管理情報の収集・蓄積、予防的な対策等への利活用 等
新技術の開発・導入	ICT、センサー、ロボット、非破壊検査、補修・補強、新材料等に関する技術等の開発・積極的な活用 等
予算管理	新技術の活用やインフラ機能の適正化による維持管理・更新コストの縮減、平準化 等
体制の構築	[国]技術等の支援体制の構築、資格・研修制度の充実 [地方公共団体等]維持管理・更新部門への人員の適正配置、国の支援制度等の積極的な活用 [民間企業]入札契約制度の改善 等
法令等の整備	基準類の体系的な整備 等

5. その他

- 戦略的なインフラの維持管理・更新に向けた産学官の役割の明示
- 計画のフォローアップの実施

国の要請（総務省資料から抜粋）

◆インフラ長寿命化基本計画等の体系



国の要請（総務省資料から抜粋）

◆公共施設等の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策の推進

地方公共団体が、厳しい財政状況や人口減少等の状況を踏まえ、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置の実現を目指す。併せて、更新時等における民間事業者の参入促進や国土強靱化の推進を図る。

取組の内容

(1) 「公共施設等総合管理計画」の策定要請 (平成26年4月22日総務大臣通知)

地方公共団体が所有する公共施設等の全体の状況を把握し、当該地方公共団体を取り巻く現況及び将来の見通しを分析し、これを踏まえた公共施設等の管理の基本的な方針を定めることを内容とする計画を定めるよう要請

【イメージ】



(2) 「公共施設等総合管理計画」の策定支援

地方公共団体における公共施設等総合管理計画の策定を促進するための支援を実施

<支援の内容>

- ・計画策定に当たっての指針を発出
- ・計画策定に要する経費について、平成26年度からの3年間にわたり特別交付税措置(措置率 1/2)
- ・計画に基づく公共施設等の除却について、地方債の特例措置を創設(地方財政法改正)

【特例期間】

平成26年度以降当分の間、地方債の充当率 75%
(資金手当)

【地方債計画計上額】

300億円(一般単独事業(一般)の内数)

※ 計画を実行する上でPPP/PFIは有効な手段であり、計画の策定に際して、積極的な活用を検討を要請

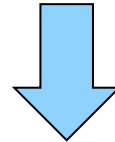
促進

公共施設等の総合的かつ計画的な管理により、地域社会の実情に合ったまちづくりや国土強靱化の推進にも寄与

公共施設における課題

人口減少による財政規模縮小

少子化や高齢化の進行によるニーズの変化など、
求められる施設機能の変化



施設の質と量の最適化

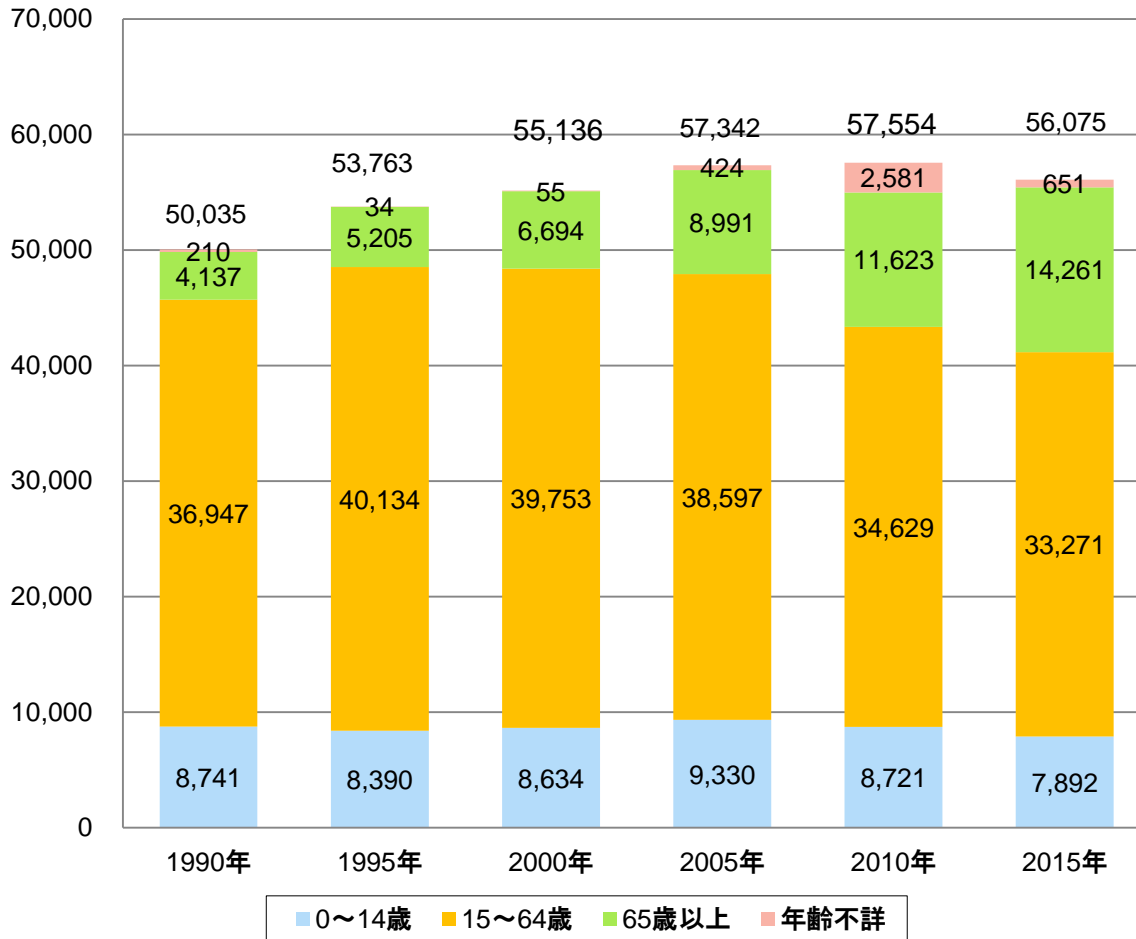
老朽化施設への長寿命化工事や大規模改修工事など
適切な対処により安心安全の確保

施設の維持管理及び更新に係るコストを抑制しつつ、
将来世代への資産引継ぎ

年代別人口の推移（実績）

過去からの推移(5年ごと)

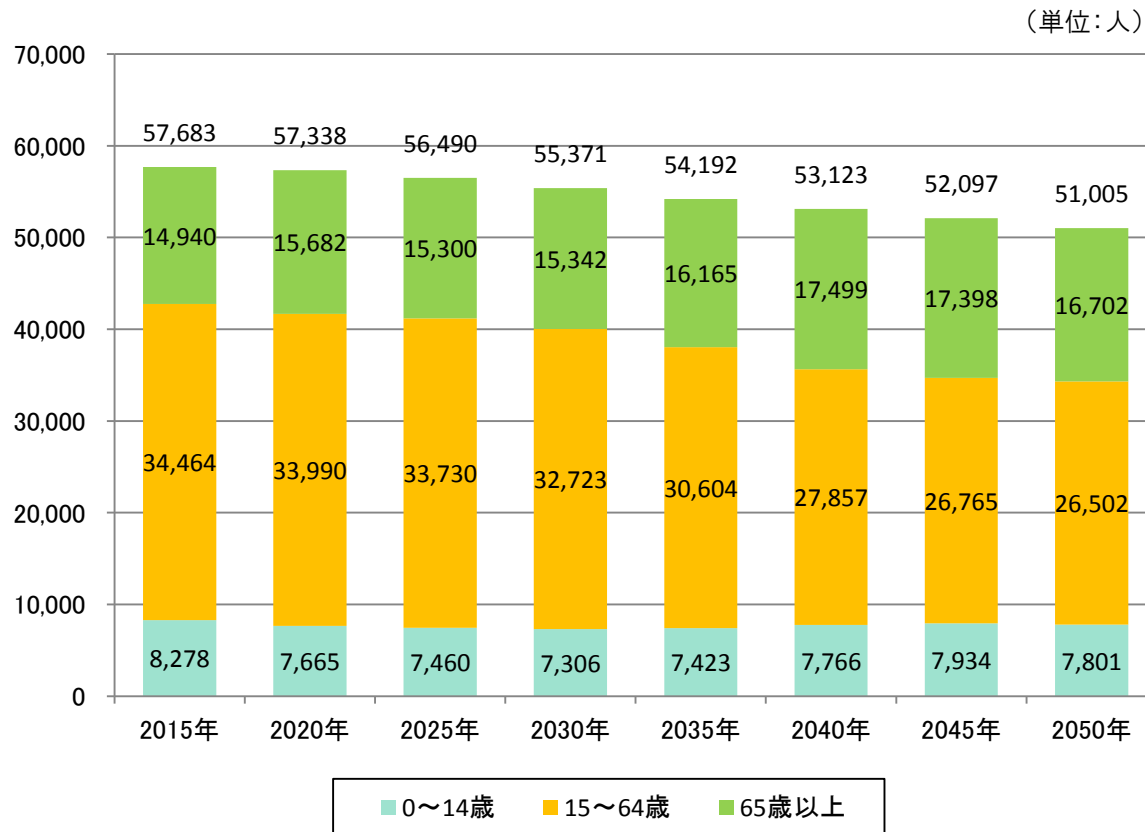
(単位:人)



田原地域における住宅開発の効果もあり微増傾向であったが、2010(平成22)年をピークに2015(平成27)年は減少に転じています。

年代別人口の推移(推計)

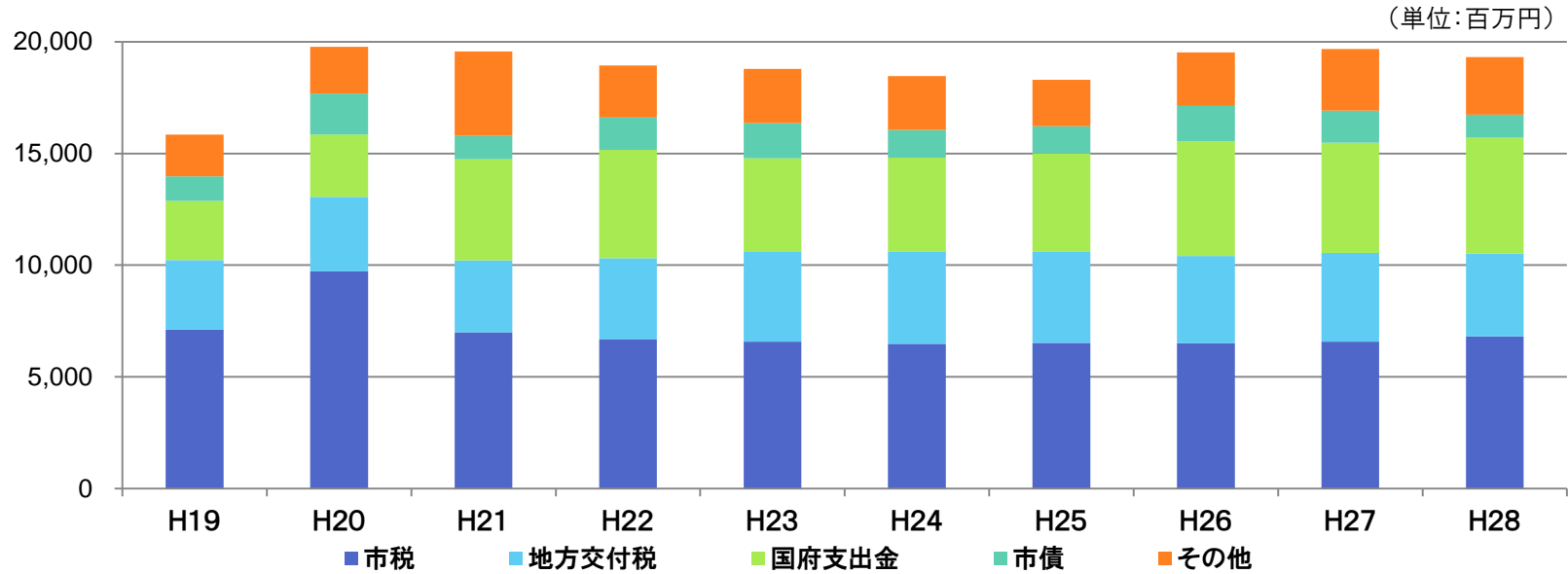
今後の推移予測(5年ごと) ※四條畷市人口ビジョンより



人口ビジョンにおける2050年における総人口の目標は51,005人としている。2015(平成27)年と比べると6,678人、11.6%減少すると見込んでいる。

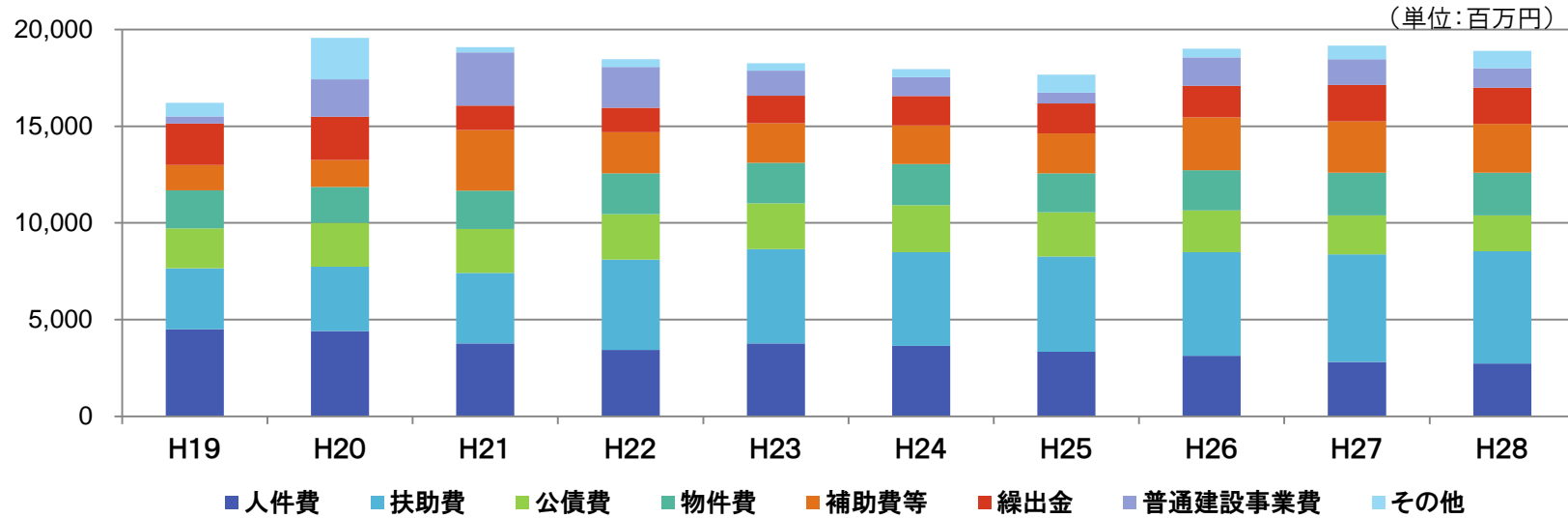
14歳以下の人口は477人、5.8%の減少、15～64歳は7,962人、23.1%の減少、65歳以上は1,762人、11.8%増加すると見込んでいる。

財政状況(性質別歳入・H19～H28)



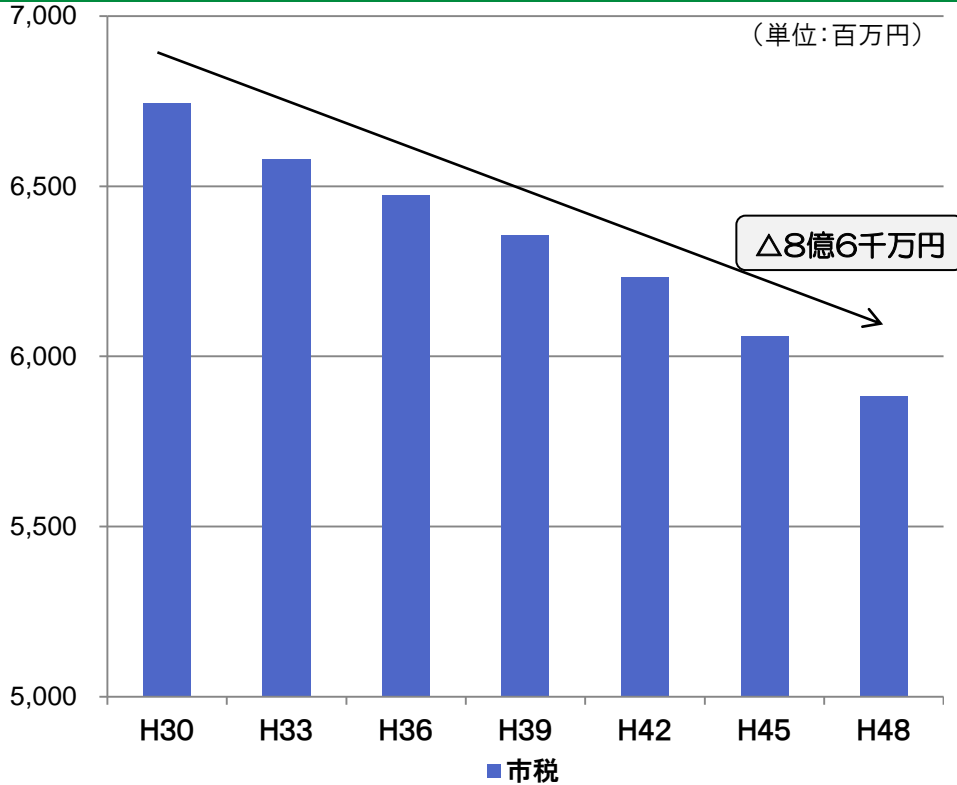
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
市税	7,115	9,728	6,993	6,679	6,572	6,485	6,525	6,512	6,583	6,808
地方交付税	3,120	3,333	3,229	3,630	4,017	4,131	4,088	3,894	3,972	3,714
国府支出金	2,637	2,781	4,530	4,856	4,203	4,201	4,395	5,155	4,936	5,180
市債	1,108	1,848	1,043	1,448	1,575	1,244	1,223	1,576	1,430	1,033
その他	1,869	2,086	3,781	2,330	2,422	2,414	2,069	2,394	2,758	2,591
合計	15,849	19,776	19,576	18,943	18,789	18,475	18,300	19,531	19,679	19,326

財政状況(性質別歳出・H19～H28)



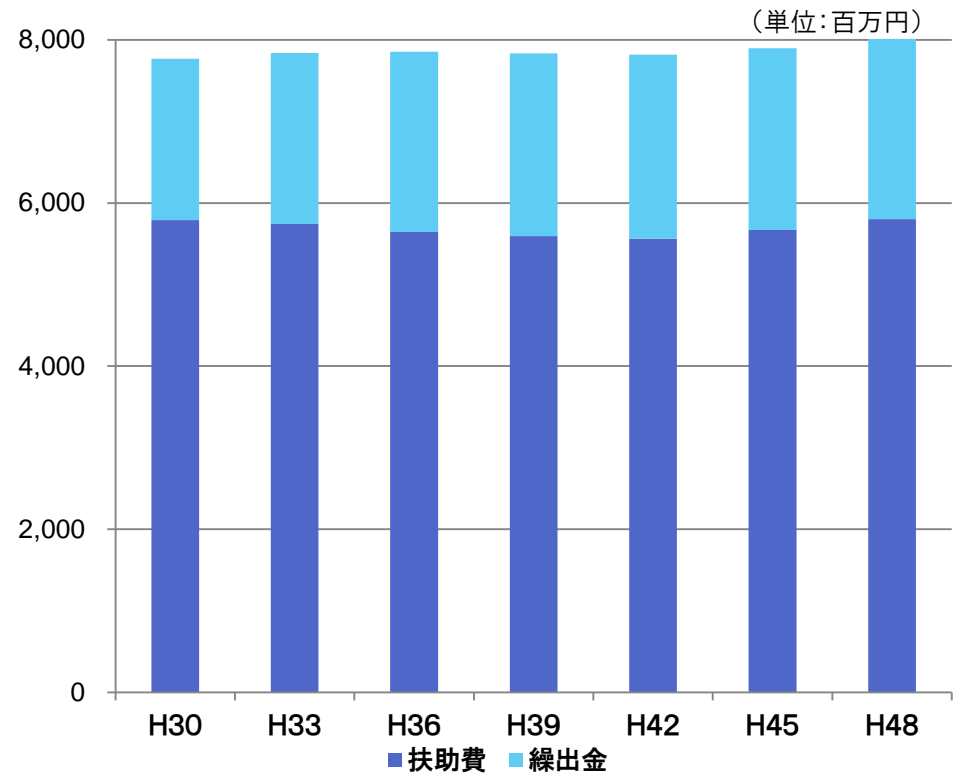
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
人件費	4,502	4,412	3,775	3,445	3,771	3,654	3,342	3,130	2,814	2,733
扶助費	3,162	3,330	3,643	4,657	4,879	4,834	4,918	5,354	5,556	5,807
公債費	2,055	2,269	2,263	2,356	2,371	2,433	2,294	2,155	2,018	1,854
物件費	1,963	1,843	1,981	2,099	2,080	2,128	2,015	2,087	2,215	2,198
補助費等	1,307	1,395	3,144	2,137	2,055	1,994	2,064	2,730	2,640	2,523
繰出金	2,148	2,236	1,252	1,260	1,419	1,510	1,544	1,629	1,890	1,882
普通建設事業費	365	1,929	2,750	2,109	1,293	977	558	1,471	1,327	994
その他	711	2,143	277	391	382	414	926	453	708	894
合計	16,213	19,557	19,085	18,454	18,250	17,944	17,661	19,009	19,168	18,885

財政状況(市税、扶助費及び繰出金の将来見通し)



	H30	H33	H36	H39	H42	H45	H48
市税	6,743	6,579	6,472	6,356	6,232	6,060	5,883

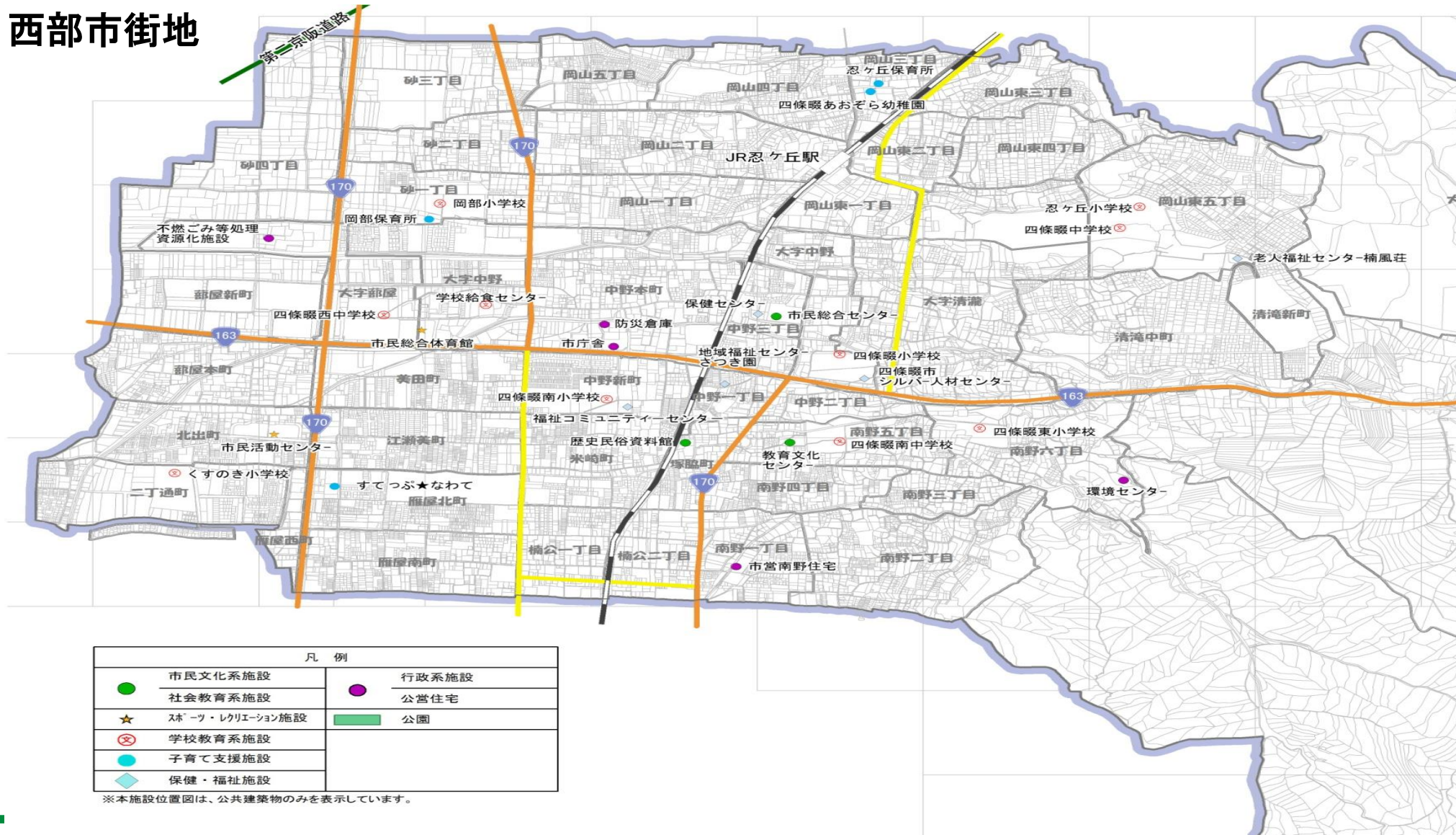
※平成29年度作成の財政収支見通しより抜粋



	H30	H33	H36	H39	H42	H45	H48
扶助費	5,792	5,742	5,644	5,593	5,563	5,670	5,802
繰出金	1,975	2,097	2,210	2,241	2,257	2,228	2,267
合計	7,767	7,839	7,854	7,834	7,820	7,898	8,069

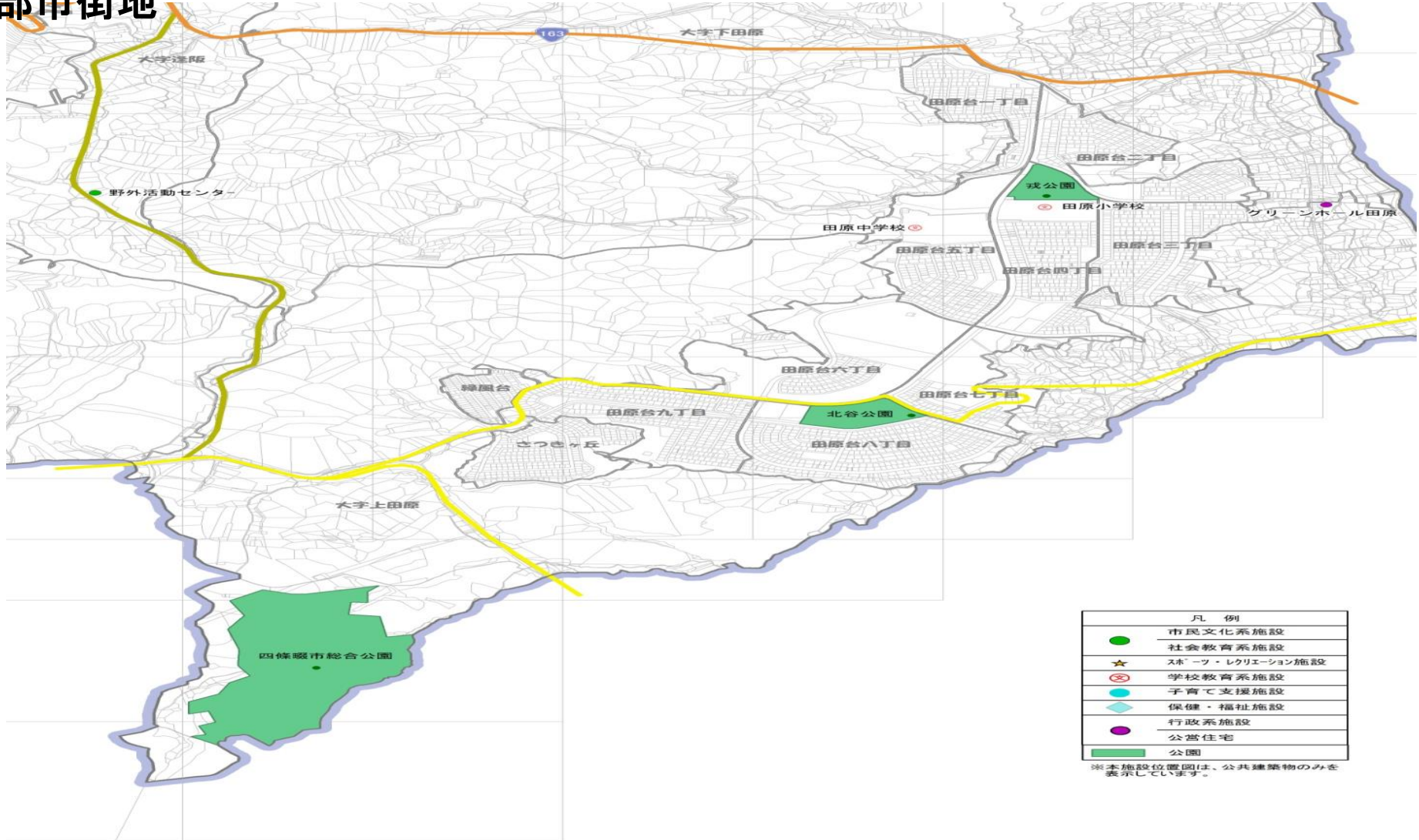
公共施設の配置

西部市街地



公共施設の配置

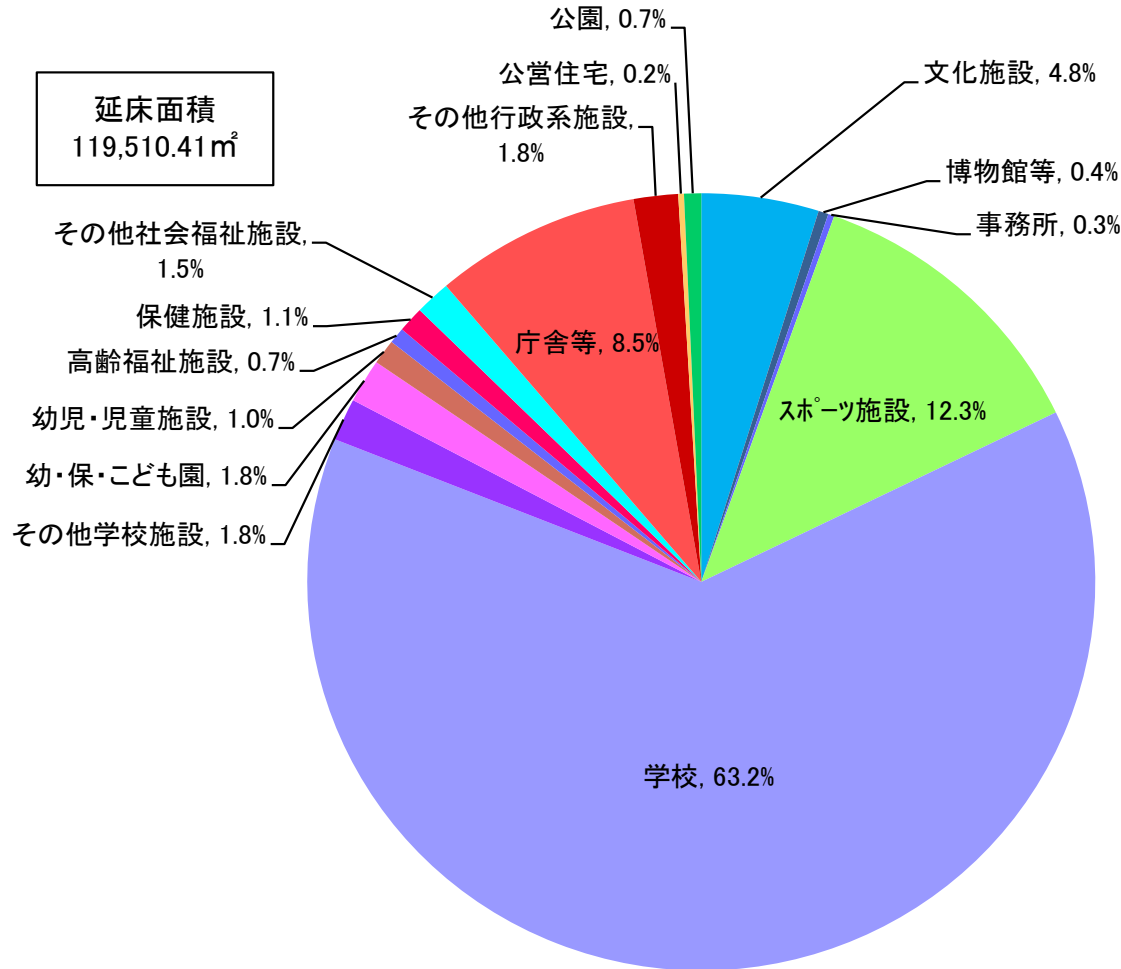
東部市街地



凡 例	
●	市民文化系施設
●	社会教育系施設
★	スポーツ・レクリエーション施設
⊙	学校教育系施設
◇	子育て支援施設
◇	保健・福祉施設
●	行政系施設
●	公営住宅
■	公園

※本施設位置図は、公共建築物のみを表示しています。

公共施設類型別床面積

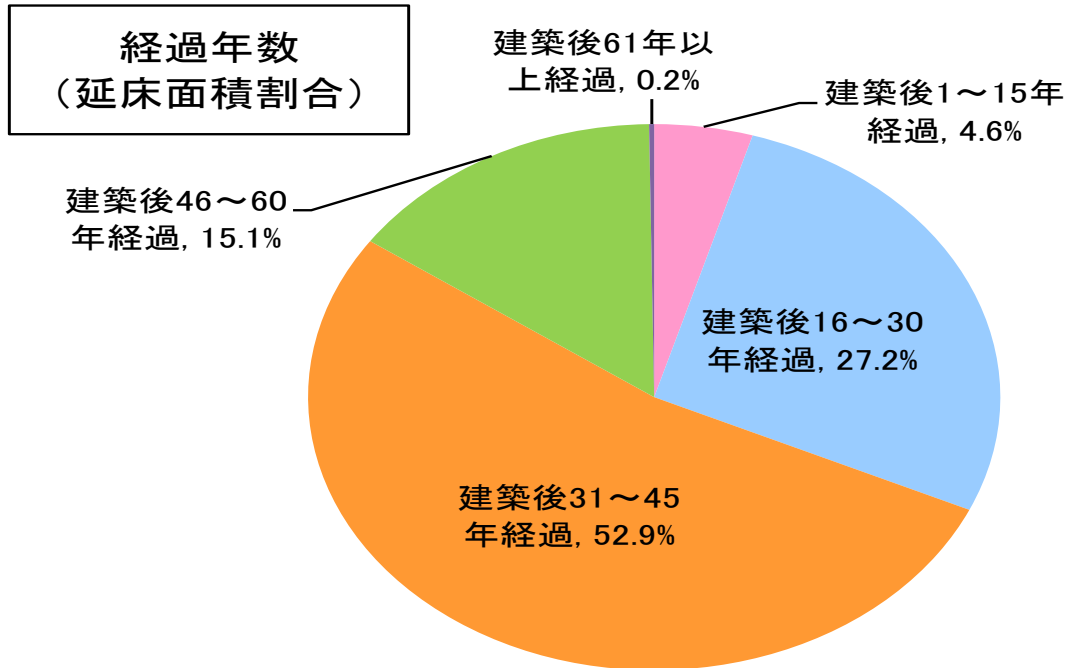


建物施設は、37施設で、延床面積は約12万㎡。

建物延べ床面積の割合では、学校が63.2%と大部分を占めている。

次に、スポーツ施設の12.3%となっている。

公共施設経過年数(延床面積割合)



当初建築年からの経過年数は、31～45年の建物が52.9%と最も多く、46～60年のものも15.1%ある。このことから、現時点で何らかの対策を講じなければ10～20年後に多くの建物の更新時期が集中するため、財政状況が逼迫する。

経過年数	面積(m ²)
建築後1～15年経過	5,491.08
建築後16～30年経過	32,482.35
建築後31～45年経過	63,228.93
建築後46～60年経過	18,027.05
建築後61年以上経過	281.00
合計	119,510.41

市民一人あたりの延床面積

◆市民一人あたりの延床面積

本市が保有する公共建築物の総量から、市民一人あたりの延床面積を算出し、全国と近隣市で比較を行った。

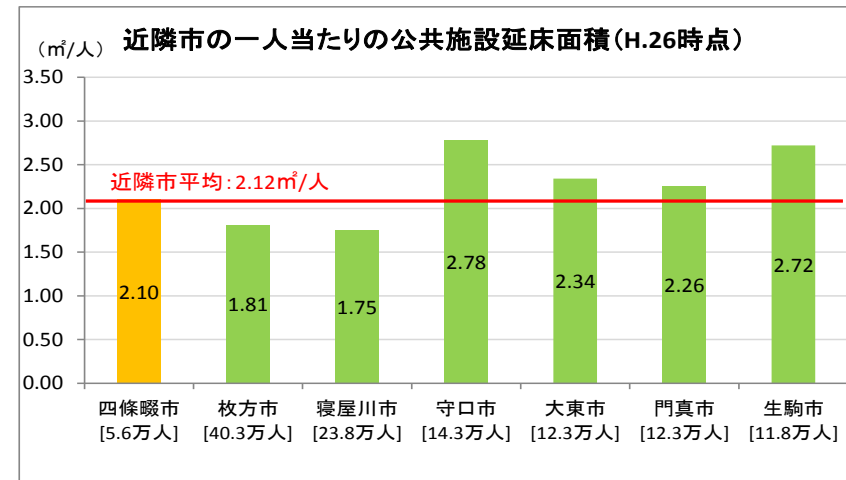
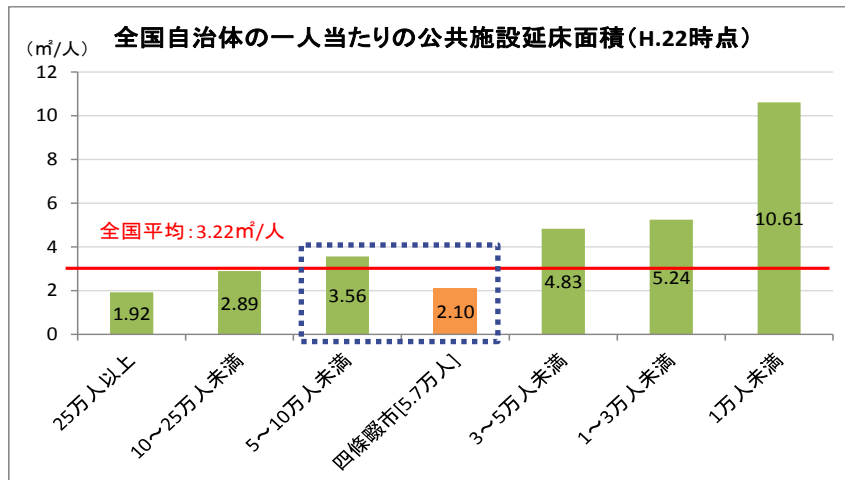
本市の市民一人あたりの延床面積 2.10㎡

①全国平均との比較

- ・全国平均 3.22㎡/人
- ・人口類似団体平均 3.56㎡/人

②近隣市平均との比較

- ・近隣市平均 2.12㎡/人



資料：公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査（H.24.3総務省）
 全国自治体公共施設延床面積データ（H.24.1東洋大学PPP研究センター）
 ※各自治体の人口はH.22年3月時点の住民基本台帳人口

資料：平成26年度決算審査意見書、平成27年国勢調査速報値 ※交野市は資料なし

公共施設の劣化調査結果

施設概要 施設名	構造	延床面積 (㎡)	経過年数	構造体劣化調査					建築物劣化調査									
				コンクリート S	コンクリート 中 性 化 深 さ	鉄筋の腐食状況	目標耐用年数※	の 目 標 耐 用 年 数 ま で	屋上・屋根	外壁	外壁開口部	外部その他	内部(室内)	外構	電気設備	給排水設備	空調設備	その他設備
市民総合センター	RC	5,011.13	37	○	○		80年以上	43年以上	C	C	C	D	B	C	B	B	B	A
教育文化センター	RC	743.29	43	○	○		80年以上	37年以上	D	C	A	D	C	A	B	B	C	A
歴史民俗資料館(本館)	RC	492.08	33	○	○		80年以上	47年以上	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A
歴史民俗資料館(土蔵)	W	148.00	1.1															
野外活動センター	S	298.89	28				60年	32年	B	C	B	A	B	A	B	B	B	A
市民総合体育館	RC	9,199.91	23	○	○		80年以上	57年以上	C	C	A	C	B	C	B	B	A	A
市民活動センター(校舎棟)	RC	4,680.41	39	○	○		80年以上	41年以上	C	C	D	C	C	C	B	B	B	A
市民活動センター(屋内運動場)	RC	870.14	39	○	○		80年以上	41年以上	C	C	B	A	C	C	B	A	A	A
四條畷小学校(普通教室棟)	RC	465	53	○	○		60年	7年	A	C	C	A	C	C	B	B	B	B
四條畷小学校(普通教室棟)	RC	1,112	52	○	○		60年	8年	C	A	A	A	B	C	B	B	B	B
四條畷小学校(普通教室棟)	RC	1,251	50	○	○		60年	10年	A	B	C	A	C	C	B	C	B	B
四條畷小学校(管理教室棟)	RC	2,012	47	○	○		80年以上	33年以上	D	A	A	A	C	C	B	B	B	B
四條畷小学校(管理教室棟)	RC	504	46	○	△	○	80年以上	34年以上	A	A	A	D	A	C	B	B	B	B
四條畷小学校(給食配膳室)	S	120	17				60年	43年	A	C	A	A	A	C	B	A	A	B
四條畷小学校(体育館)	RC	878	41	○	○		80年以上	39年以上	A	B	C	A	A	C	B	A	A	B
四條畷小学校(プール付属棟)	CB	130	37				60年	23年	B	B	B	A	A	C	B	B	A	B
田原小学校(特別及び普通教室棟)	RC	2,019	28	○	○		80年以上	52年以上	A	B	A	B	B	C	B	A	A	A
田原小学校(特別教室棟)	RC	781	28	○	○		80年以上	52年以上	D	A	A	A	B	C	B	A	A	B
田原小学校(特別教室棟)	RC	977	28	○	○		80年以上	52年以上	A	A	A	B	B	C	B	A	A	B
田原小学校(特別及び普通教室棟)	RC	1,002	23	○	○		80年以上	57年以上	A	A	A	C	A	C	B	A	A	B
田原小学校(特別及び普通教室棟)	RC	1,537	13	○	○		80年以上	67年以上	A	C	A	A	C	C	B	C	A	B
田原小学校(屋内運動場)	RC	1,191	28	○	○		80年以上	52年以上	A	B	A	A	B	C	B	A	A	B
田原小学校(プール付属棟)	CB	86	28				60年	32年	A	B	A	A	A	C	B	A	A	A
四條畷南小学校(管理特別普通教室棟)	RC	1,868	49	○	○		80年以上	31年以上	C	B	B	C	C	C	B	C	B	B
四條畷南小学校(管理特別普通教室棟)	RC	2,604	49	○	○		80年以上	31年以上	C	B	B	D	C	C	B	B	B	B
四條畷南小学校(屋内運動場)	RC	731	44	○	△	○	80年以上	36年以上	B	B	A	A	B	C	B	A	B	B
くすのき小学校(普通特別管理棟)	RC	1,726	47	○	○		80年以上	33年以上	B	A	A	A	B	D	B	A	B	B
くすのき小学校(普通特別管理棟)	RC	2,311	47	○	○		80年以上	33年以上	B	B	A	B	B	D	B	B	B	B
くすのき小学校(普通教室棟)	RC	870	45	○	○		80年以上	35年以上	A	A	A	B	A	D	B	B	B	B
くすのき小学校(管理教室棟)	RC	472	43	○	○		80年以上	37年以上	A	B	A	A	A	D	B	A	B	B
くすのき小学校(体育館)	RC	663	45	○	△	○	80年以上	35年以上	A	B	B	A	A	D	B	B	B	B
沓ヶ丘小学校(普通教室棟)	RC	1,361	45	○	○		80年以上	35年以上	B	A	A	A	B	C	B	A	B	A
沓ヶ丘小学校(普通教室棟)	RC	507	45	○	○		80年以上	35年以上	A	A	A	A	A	C	B	A	A	A
沓ヶ丘小学校(普通教室棟)	RC	1,193	45	○	○		80年以上	35年以上	B	B	A	A	B	C	B	A	B	A
沓ヶ丘小学校(管理特別教室棟)	RC	2,557	45	○	△	○	80年以上	35年以上	C	C	C	C	C	C	B	C	B	A
沓ヶ丘小学校(屋内運動場)	RC	853	43	○	△	○	80年以上	37年以上	C	C	C	A	C	C	B	A	A	A
四條畷東小学校(管理特別教室棟)	RC	2,838	44	○	△	○	80年以上	36年以上	B	C	C	B	C	B	B	B	B	A
四條畷東小学校(普通教室棟)	RC	2,061	44	○	△	○	80年以上	36年以上	A	C	C	B	B	B	B	B	B	A
四條畷東小学校(屋内運動場)	RC	755	41	○	○		80年以上	39年以上	A	C	B	A	B	B	B	A	B	A
岡部小学校(管理棟)	RC	1,484	41	○	○		80年以上	39年以上	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
岡部小学校(普通特別管理棟)	RC	2,967	41	○	△	○	80年以上	39年以上	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
岡部小学校(管理教室棟)	RC	555	41	○	○		80年以上	39年以上	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B

対象施設について

①建築して間もない施設(すてっ☆なわて、四條畷市総合公園管理棟)
 ②建築後、一定期間の経過により劣化が明らかに認められる施設(沓ヶ丘おおぞらこども園(おおぞら棟)、市営南野住宅)
 ③用途が倉庫等である施設(学校施設の倉庫棟など)
 ④旧耐震基準の建物で耐震診断又は耐震補強工事が未実施であり、かつ延床面積が500㎡未満であるもの(学校施設のプール付属棟、ポンプ室)
 上記①から④に該当する施設は、本調査の対象外としています。

構造の凡例

RC 鉄筋コンクリート造
 S 鉄骨造
 LGS 軽量鉄骨造
 CB コンクリートブロック造
 W 木造

構造体劣化調査の凡例

○ 耐久性に問題がない
 △ 要調査
 × 耐久性に問題がある
 調査対象外

※目標耐用年数は、建築年度からの使用見込み期間を示す

建築物劣化調査の凡例

A 概ね良好
 B 局所、部分的に劣化が見られるが安全上、機能上の問題はない
 C 箇所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上に甚下の劣化が見られる
 D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急な対応が求められる

公共施設の劣化調査結果

施設概要 施設名	構造	延床面積 (㎡)	経過年数	構造体劣化調査					建築物劣化調査									
				圧縮強度 σ _c (N/㎡)	中性化 深さ(㎜)	鉄筋の腐食状況	目標耐用年数	の 残 年 数	目標耐用年数まで の 残 年 数	屋上・屋根	外壁	外部開口部	外部その他	内部(室内)	外構	電気設備	給排水設備	空調設備
岡部小学校(屋内運動場)	RC	833	41	○	○	△	80年以上	39年以上	A	B	A	A	A	A	A	A	B	A
四條畷中学校(管理教室棟)	RC	3,690	51	○	○	△	60年	9年	C	A	B	B	D	C	B	B	B	B
四條畷中学校(管理教室棟)	RC	2,228	50	○	○	△	60年	10年	A	B	A	A	B	C	B	A	B	B
四條畷中学校(屋内運動場)	RC	1,176	48	○	○	△	80年以上	32年以上	B	B	A	B	B	C	B	B	B	B
四條畷中学校(プール付属棟)	S	176	7	○	○	△	60年	53年	A	B	A	B	A	C	B	A	A	B
四條畷南中学校(普通教室及び特別教室棟)	RC	2,000	46	○	○	△	80年以上	34年以上	A	A	A	A	D	B	B	B	B	A
四條畷南中学校(普通教室及び特別教室棟)	RC	2,127	46	○	○	△	80年以上	34年以上	B	C	A	D	A	B	B	A	B	A
四條畷南中学校(普通教室及び特別教室棟)	RC	2,739	46	○	○	△	80年以上	34年以上	A	B	C	B	C	B	B	A	B	A
四條畷南中学校(屋内運動場)	RC	1,155	45	○	△	○	80年以上	35年以上	A	B	A	D	B	B	B	A	B	A
四條畷西中学校(普通教室棟)	RC	1,706	39	○	○	△	80年以上	41年以上	B	B	B	A	B	C	B	B	B	A
四條畷西中学校(管理及び特別教室棟)	RC	3,208	39	○	○	△	80年以上	41年以上	B	A	A	B	B	C	B	B	B	A
四條畷西中学校(普通教室棟)	RC	986	39	○	○	△	80年以上	41年以上	A	A	A	A	A	C	B	A	B	A
四條畷西中学校(普通教室棟)	RC	254	36	○	△	○	80年以上	44年以上	A	B	A	A	A	C	B	A	B	A
四條畷西中学校(普通教室棟)	RC	169	34	○	○	△	80年以上	46年以上	A	A	A	A	A	C	B	A	B	A
田原中学校(普通教室棟)	RC	976	28	○	○	△	80年以上	52年以上	A	B	A	A	B	B	B	B	B	A
田原中学校(管理及び特別教室棟)	RC	1,835	28	○	○	△	80年以上	52年以上	C	A	B	B	C	B	B	B	B	A
田原中学校(管理教室棟)	RC	849	28	○	○	△	80年以上	52年以上	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A
田原中学校(管理教室棟)	RC	1,396	17	○	○	△	80年以上	63年以上	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A
田原中学校(屋内運動場)	RC	1,182	28	○	○	△	80年以上	52年以上	A	B	A	A	B	B	B	B	B	A
田原中学校(プール付属棟)	RC	206	28	○	○	△	80年以上	52年以上	A	B	A	A	B	B	B	A	B	B
学校給食センター	S	2,105.72	17	○	○	△	60年	43年	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A
恐ヶ丘あおぞらこども園(しのぶ棟)	RC	689.55	46	○	○	△	80年以上	34年以上	B	C	C	B	B	C	B	B	B	A
岡部保育所	RC	822.75	42	○	○	△	80年以上	38年以上	A	A	A	B	B	A	B	B	B	A
老人福祉センター楠風荘	RC	794.33	42	○	○	△	80年以上	38年以上	C	C	A	D	A	B	B	B	B	B
保健センター	RC	1,272.60	32	○	○	△	80年以上	48年以上	D	C	B	D	D	A	B	B	B	A
四條畷市シルバー人材センター	S	768.05	48	○	○	△	60年	12年	B	A	A	A	A	B	B	B	B	A
地域福祉センターさつき園	S	208.05	35	○	○	△	60年	25年	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A
福祉コミュニティセンター	RC	765.60	42	○	○	△	80年以上	38年以上	D	A	A	D	C	A	B	B	B	A
市庁舎(北別館)	RC	514.00	51	○	○	△	60年	9年	C	B	C	B	B	B	B	B	A	A
市庁舎(EV棟)	S	39.24	25	○	○	△	60年	35年	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A
市庁舎(プレハブ棟)	LGS	68.18	25	○	○	△	40年	15年	C	B	A	B	A	A	B	B	A	A
市庁舎(中庭棟)	S	166.57	25	○	○	△	60年	35年	A	C	A	A	C	A	B	B	A	A
市庁舎(本館西棟)	RC	2,332.00	54	○	○	△	60年	6年	C	C	B	B	C	B	B	B	B	A
市庁舎(本館東棟)	RC	2,332.00	54	○	○	△	60年	6年	C	C	B	B	C	B	B	B	B	A
市庁舎(東別館)	S	2,310.97	26	○	○	△	60年	34年	A	B	B	B	B	A	B	C	B	A
グリーンホール田原	RC	4,310.90	26	○	○	△	80年以上	54年以上	B	B	A	A	B	A	B	B	B	A
防災倉庫	S	317.43	19	○	○	△	60年	41年	B	A	A	B	B	B	B	A	A	A
防災行政無線中継局	LGS	5.00	24	○	○	△	40年	16年	B	B	A	A	A	A	A	A	B	A
環境センター	S	976.79	17	○	○	△	60年	43年	B	B	A	A	B	A	A	A	A	A
戎公園管理棟	W	266.71	24	○	○	△	40年	16年	A	A	B	A	B	B	B	A	B	A
北谷公園管理棟	RC	281.30	23	○	○	△	80年以上	57年以上	A	B	B	B	B	B	B	A	B	A

対象施設について

①建築して間もない施設(すてっぷ★なわて、四條畷市総合公園管理棟)
 ②建築後、一定期間の経過により老朽化が明らかに認められる施設(恐ヶ丘あおぞらこども園(あおぞら棟)、市営南野住宅)
 ③建物の用途が倉庫等である施設(学校施設の倉庫棟など)
 ④旧耐震基準の建物で耐震診断又は耐震補強工事が未実施であり、かつ延床面積が500㎡未満であるもの(学校施設のプール付属棟、ポンプ室)
 上記①から④に該当する施設は、本調査の対象外としています。

構造の凡例

RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
LGS	軽鋼鉄骨造
CB	コンクリートブロック造
W	木造

構造体劣化調査の凡例

○	耐久性に問題がない
△	要調査
×	耐久性に問題がある
斜線	調査対象外

※目標耐用年数は、建築年度からの使用見込み期間を示す

建築物劣化調査の凡例

A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが安全上、機能上の問題は無い
C	箇所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上に低下の兆しが見られる
D	劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急な対応が求められる

公共施設の劣化調査結果

各施設健全度順位

健全度

高

低

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
施設名	学校給食センター	戎公園管理棟	防災倉庫（※市庁舎北側に設置）	環境センター	田原小学校	北谷公園管理棟	岡部小学校	グリーンホール田原	地域福祉センターさつき園	田原中学校	四條畷西中学校	岡部保育所	防災行政無線中継局	四條畷市シルバー人材センター	四條畷中学校	歴史民俗資料館	市民総合体育館	くすのき小学校	四條畷南中学校	四條畷小学校	野外活動センター	市庁舎	福祉コミュニティセンター	忍ヶ丘小学校	忍ヶ丘あおぞらくども園（しのぶ棟）	保健センター	四條畷東小学校	四條畷南小学校	老人福祉センター楠風荘	市民活動センター	市民総合センター	教育文化センター

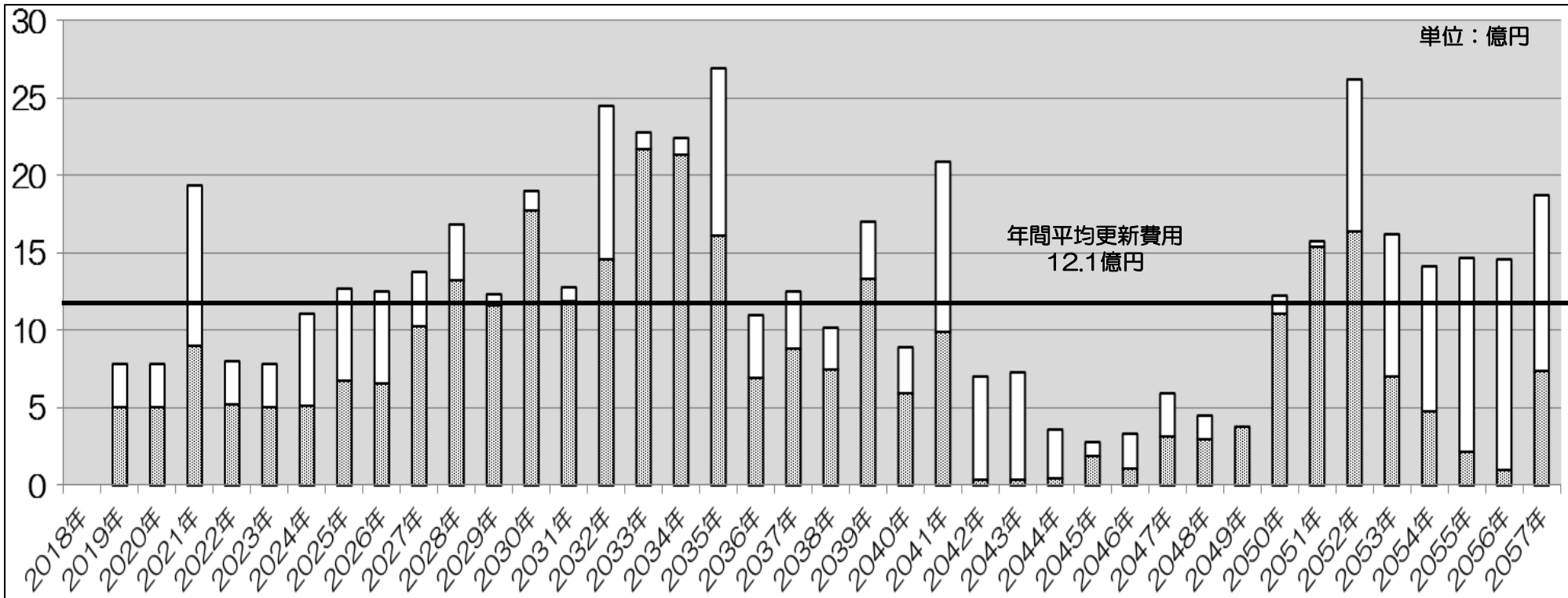
構造体劣化調査及び建築物劣化調査の結果をもとに、点数評価を行い、その合計点の高いものから順に並べました。

公共施設の劣化調査結果

将来更新費用

調査対象施設における今後40年間の 修繕・更新等に係る費用	483.4億円	内訳	その他の公共施設：159.4億円（33%） 学校教育施設：324.0億円（67%）
----------------------------------	---------	----	--

□ その他の公共施設
■ 学校教育系施設



公共施設のコスト

※平成27～29年度の決算額
を平均した金額

	市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ施設	学校教育系施設	子育て支援施設、保健・福祉施設	行政系施設、公営住宅、公園施設	全施設
フロー	2,824万円/年	1億1,129万円/年	2,621万円/年	5,628万円/年	2億2,202万円/年
ストック	1億6,756万円/年	4億7,523万円/年	5,120万円/年	1億4,900万円/年	8億4,299万円/年
合計	1億9,580万円/年	5億8,652万円/年	7,741万円/年	2億528万円/年	10億6,501万円/年

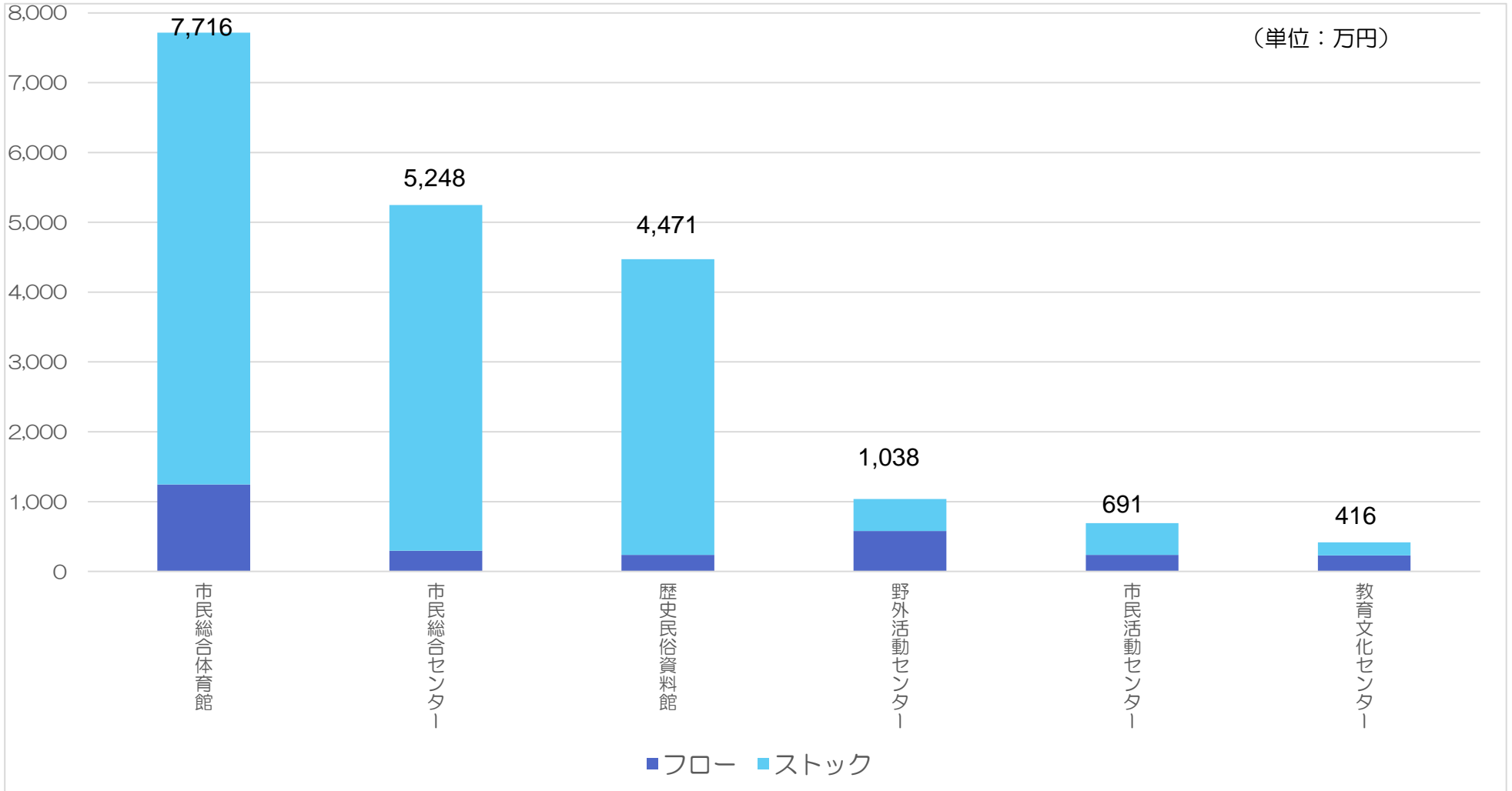
上記の10億6,501万円は、平成27～29年度歳出決算平均額190億2,070万円の5.6%を占めている。

フロー:施設を運営するためにかかるコストをいいます。消耗品費、燃料費、光熱水費、手数料、人件費(施設管理に係る部分)の歳出合計から施設の使用料、広告収入の歳入合計を差し引いた金額です。

ストック:施設を維持するためにかかるコストをいいます。修繕料、施設維持管理委託料(清掃委託、警備委託、設備機器点検委託など)、工事請負費、備品購入費、減価償却費の合計です。

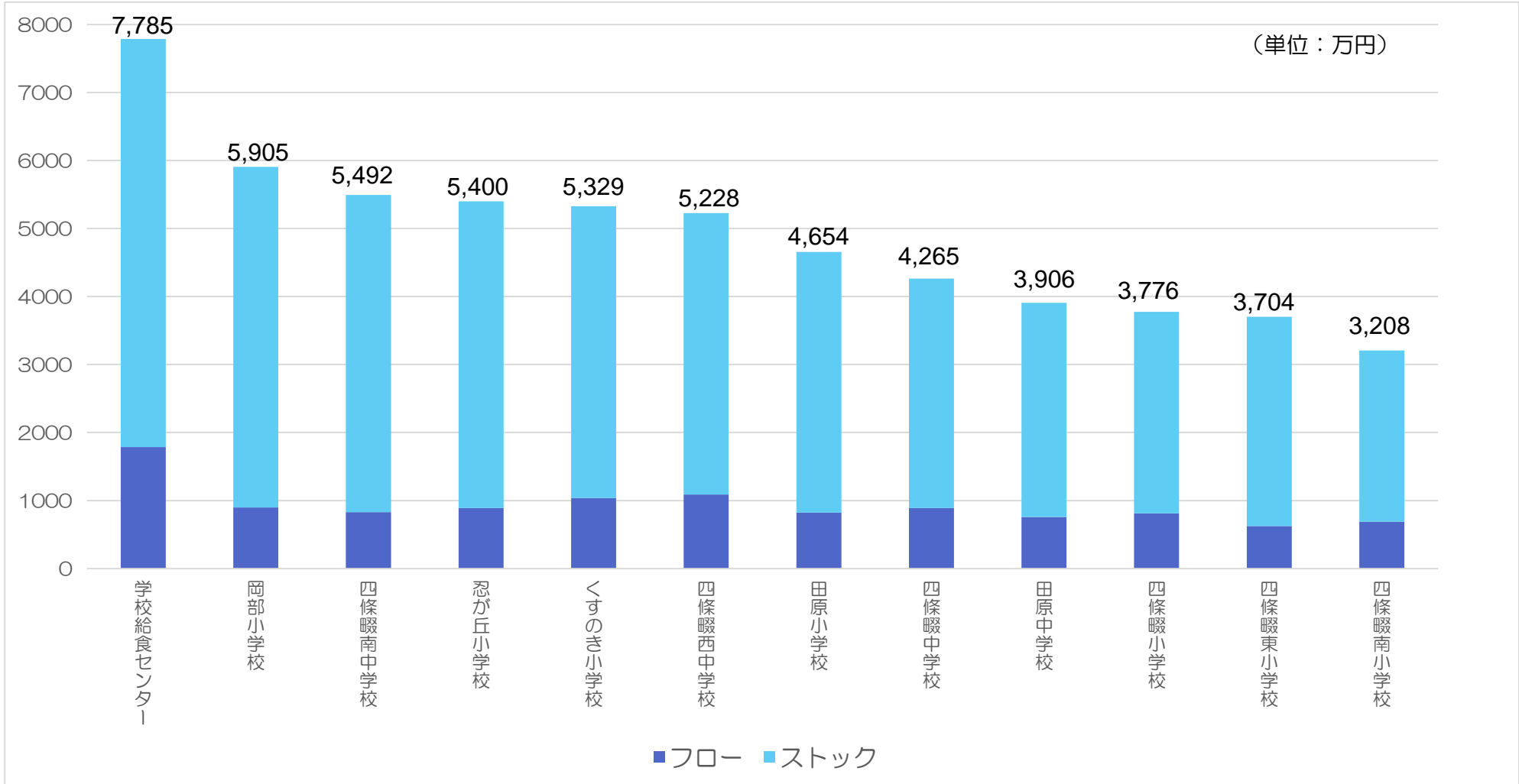
公共施設のコスト

市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツレクリエーション施設(1億9,580万円/年)



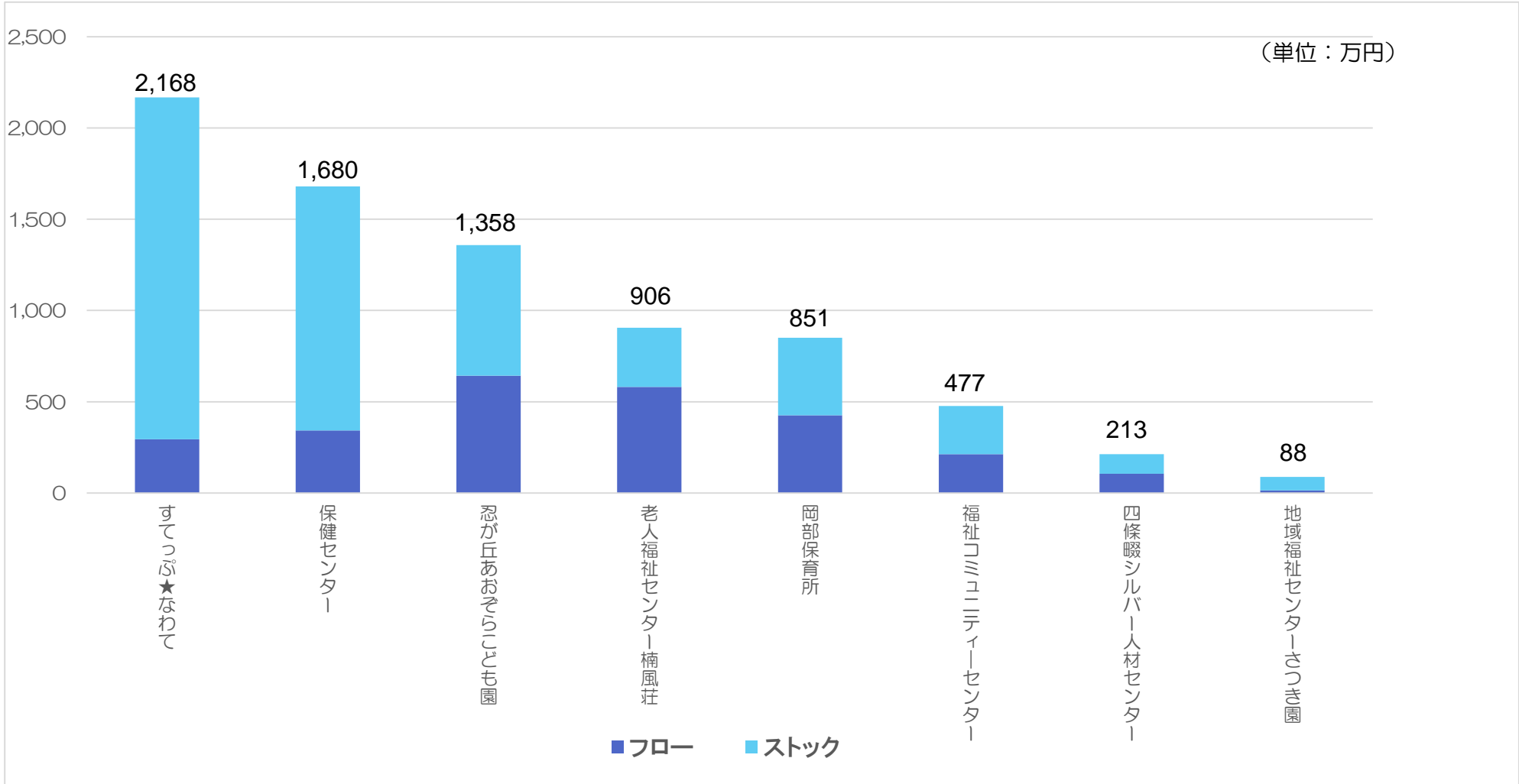
公共施設のコスト

学校教育系施設(5億8,652万円/年)



公共施設のコスト

子育て支援施設、保健・福祉施設(7,741万円/年)



公共施設のコスト

行政系施設、公営住宅、公園施設(2億528万円/年)

